

- 九州長波局からの電波送信が途絶えています
    - － 現在、電波時計の基準電波送信は福島局のみです －
  - 平成17年12月22日
- 

現在、独立行政法人情報通信研究機構(理事長:長尾 真)の「はがね山標準電波送信所(通称:九州長波局、所在地:佐賀/福岡県境付近、周波数:60kHz)」からの長波標準電波送信ができない(停波)状態となっています。

この停波は平成17年12月21日11時21分34秒から続いています。その原因は同送信所の地上高200mアンテナに「直撃雷」を受け、送信施設の一部機器に損傷被害が発生したためです。

現在、技術専門家を現地に派遣して送信施設復旧作業を急いでいますが、同送信所からの電波送信再開は12月23日(金)夕方頃となる見込みです。

日本国内における長波標準電波送信運用は、「おおたかどや山標準電波送信所(通称:福島局、所在地:福島県、周波数:40kHz)」と、「はがね山標準電波送信所」の2つの送信所を使って行われていますので、40kHzが受信できる電波時計をご使用の皆様は、今までどおり使用いただけます。

しかし、九州、中国、四国地域等、福島局から離れた場所では、標準電波が受かりにくくなることがあり、また60kHzしか受信しない電波時計では、時刻合わせができないため、次第にずれていくこともあります。

標準電波送信状況については、九州長波局のホームページ(<http://jjy.nict.go.jp/jjy/index.html>)でお知らせしていますのでご利用下さい。

尚、電波時計は、標準電波が受信できない場合でも、通常の時計として動作します。

皆様には不便をおかけしておりますが、早急に復旧できるよう努力しておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

---

## <問い合わせ先>

情報通信研究機構 総務部 広報室  
栗原 則幸

Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587

## <担当部門問い合わせ先>

情報通信研究機構 電磁波計測部門  
日本標準時グループ

Tel: 042-327-7566、Fax:042-327-6689

URL: <http://jjy.nict.go.jp/>

---